授業科目　相談援助各論 II

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	社会
河野　聖夫	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【ディプロマポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎		○	○

【概要・一般目標：GIO】

相談援助やソーシャルワークの実践過程を、ジェネリックな視点から理解することによって、どのように適用するかを考察する。テキストや事例を通じて、相談援助の実践過程について学習する。特に社会福祉における相談援助実践の展開方法を、実践事例による考察を図りながら習得していく。

【学習目標・行動目標：SBO】

１相談援助の展開過程で用いられる専門技術についてを理解し、思考過程を習得する。
２相談援助の実践過程を理解する。
３ソーシャルワークの実践過程における展開方法を理解し習得する。
４相談援助における記録の技術と活用方法を理解し習得する。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション		相談援助各論１の振り返り
2	ソーシャルワークの実践		配布資料　　ジェネラリストソーシャルワークについて
3	ソーシャルワークの実践過程と展開１		第５章　相談援助の展開の流れ
4	ソーシャルワークの実践過程と展開２		第５章　ケース発見
5	ソーシャルワークの実践過程と展開３		第５章　受理面接
6	ソーシャルワークの実践過程と展開４		第５章　問題把握からニーズ確定まで　　第８章契約の技術
7	ソーシャルワークの実践過程と展開５		第５章 アセスメント　　第９章アセスメントの技術
8	ソーシャルワークの実践過程と展開６		第５章　支援計画　支援実施　　第 10 章介入の技術
9	ソーシャルワークの実践過程と展開７		第６章　第 11 章
10	ソーシャルワークの実践過程と展開８		第６章　第 11 章
11	ソーシャルワーク実践の発展的な取り組み		第６章　第 14 章
12	アウトリーチの実践		第７章
13	ソーシャルワークにおける記録の活用		第 13 章相談援助のための記録の技術
14	ソーシャルワーク実践過程のまとめ		実践事例を通じての考察　振り返り
15	全体のまとめ		総括　振り返り

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	７相談援助の理論と方法 I	社会福祉士養成講座編集委員会	中央法規	最新版
参考書	新　社会福祉援助の共通基盤　第２版　上・下	日本社会福祉士会編集	中央法規	2009・2,400 円＋税
その他の資料	適宜配布する			

【評価方法】

定期試験　授業内課題への取り組み状況

【履修上の留意点】

予習と復習